

目次

□巻頭言 トンネルと機械化……………島田隆夫／1

建設機械の生産・輸出入の動向……………川上薫／3

□昭和51年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設省……………田中康之夫／9
佐々木輝

運輸省……………渋谷洋一／15
横田和男

日本国有鉄道……………五十嵐伊三郎／18

日本鉄道建設公団……………桂木定夫／21

□随想 サービスあれこれ……………小蒲康雄／26

奥矢作第一、第二揚水発電所の工事計画概要……………多田尚夫／29

下水道終末処理場工事の概要……………佐藤昌治／37
佐藤昌

グラビヤ—下水道終末処理場建設工事の現況

台風17号による木曾3川の水害と復旧の概要……………和気三郎／45

上越新幹線中山トンネル立坑の施工……………須賀一武／51

高速道路防音施設の概要……………八巻真文／57
防音シェルタについて

けた式連続高架橋架設機の開発……………月岡照／61

昭和52年度建設機械展示会広島会場見聞記……………／68

□新機種ニュース……………調査部会・新機種新工法調査委員会／72

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……………調査部会／78

行事一覧……………／79

編集後記……………(津田・林)／80

◀表紙写真説明▶

日車防音型クローラクレーン
DH-350

販売元 日熊工機株式会社
製造元 日本車輛製造株式会社

本機は埼玉県三郷浄水場建設現場で稼働中の日車 DH-350 防音型全油圧式クローラクレーンである。

近年、工事の大型化と共に無公害施工が重要視されるようになり、それらの要求に応えるべく今回日本車輛製造により開発された DH シリーズは、微操作ができるよう旋回、走行、操作に油圧モータを採用し、また、エンジン部は防音壁で外部への音の伝達を抑えるよう設計されている。さらに旋回操作時のレバーの手応えに対しては新機構(特許申請中)を採用している。

最大つり上げ荷重：35 t

最大主ブーム長さ：40 m

最大ジブブーム長さ：12 m (34 m まで装着可能)